



令和3年11月24日

育てた米を必要としている人に役立ててもらうため 新潟小の児童がフードバンクみつけに寄付します

新潟小学校の5年生が、自分たちで育てて収穫したお米をフードバンクみつけに寄付します。子どもたちは今年度総合の授業で米作りを行い、SDGsやフードバンクについて学んできました。今回の取り組みは、「自分たちにできる社会貢献として、育てたお米を必要としている人に役立ててもらいたい」という子どもたちの思いから実現しました。

新潟小学校からフードバンクへの寄付と、フードバンクみつけによる学校からの寄付の受け入れは、どちらも今回が初めての試みです。

- 日時 11月25日(木) 9:30~10:00
- 場所 見附市社会福祉協議会
(見附市保健福祉センター内、見附市学校町2-13-30)
- 参加者 5年生18名、担任、校長、
フードバンクみつけの皆さん、社会福祉協議会の皆さん
- 内容
 - ・きぼう米「一合一会」の袋を児童が、フードバンクみつけと社会福祉協議会の方に手渡す(全部で50袋を寄付します)。
 - ・米作り体験の感想、地消地産の大切さ、今できる社会貢献について考えたこと等を児童が発表する。
 - ・フードバンクみつけ、社会福祉協議会の各代表の話。

【本件の問合せ先】

見附市立新潟小学校 高田・金子 ☎ (0258) 62-0685

送信枚数 1 枚 (この表紙含む)

発信者：見附市役所 企画調整課 秘書広報係 高橋 (内線317)

☎ (0258) 62-1700 FAX (0258) 63-1006

